

# 前期計画の検証と後期計画の準備へ

予算総額 **136億9305万円** (対前年比4.7%の増)

平成  
26年度

一般会計予算**76億1000万円**

(対前年当初比5.8%の増)

全会一致で可決

3月10日、11日の両日にわたり全10会計を予算特別委員会（議長を除く13人、遠藤幸一委員長）で審査しました。



貝生地区の災害復旧現場

## 討論

一般会計予算に対する賛成討論 奥山 勝吉 議員

平成26年度の一般会計予算は前年度に比べ4億1400万円の増となっており、歳入では、町税が前年度比1.6%増ですが、地方交付税等が減額となり、一般財源としては2.3%減となっています。町税等のコンビニや郵便局収納実施にむけた準備事業は高く評価しますが、厳しい財政運営が予想されたなかで限られた財源を有効に活用する観点から、第4次行財政改革大綱の取組み推進体制の強化を求めるものであります。歳出については、扶助費が4.1%増となっております。笑顔がやき、心かよう、という主要施策のフレームを実現するための予算であると理解します。

主要事業を見ますと、子育て教育部門における新規事業の民間保育所支援事業は、保育の質の向上や特徴ある保育という観点において非常に重要な施策です。雇用・産業分野においては若者の働く場の確保という観点から、中小企業技術者養成事業

6次産業化支援事業などの前年度並みの予算確保を評価するとともに、費用対効果を常に意識した予算執行にあたっていただきたいと希望します。保健・医療・福祉の分野では、防犯灯のLED化に対して予算化されたことを評価するとともに、消費税引上げに対する臨時福祉給付金給付事業及び子育て世帯臨時特例給付事業については、周知や支給漏れ等に留意すべきと考えます。また、高齢者世帯等の除雪・雪下ろし支援の大幅な予算化についても高く評価します。限られた予算を有効に活かすインセンティブ制度の導入も検討しながら、次世代へつなぐまちづくりと共に、将来のコストと平等・公正なサービスの充実を見据え、町民が安心して暮らせるよう、行政課題の解決に向けた予算の執行を強く要望いたします。平成26年度一般会計予算についての賛成討論といたします。

※一般会計予算に対する反対討論はありませんでした。